

これの豊田山山舎を永の住所と安く穩にその衣を  
遷し奉り鎮め奉るに当たり故　　大人の御遺  
骨の御前に慎み敬い恐み恐みも曰す

汝大人家族親族を始めて　その縁に繋がる親しき  
人々相寄り相集まり現世の在りし日の壯健なる面  
影を偲び　明るき笑顔を思い起こしつゝ、あの日  
この時の事などとりどりの花を咲かせ三十日の間  
分教会において居るが如く朝な夕な物など  
供え仕え奉りてまいりましたが　今し諸人たち打  
揃いて横浜よりお供いたしこれの山舎に歩を運び  
御遺骸を納め奉るに当たり種々の味物を捧げ奉り  
拜み奉らくを甘らに安らに聞食し諾い給いて汝大  
人が心に掛けつつも果たすことのできなかつた道  
程を　心に深く刻みいよいよ親神の御教えを体し  
ひながたの道を身近に拜して明るく勇みて一日一  
日をおく負持つ祖先の名を高めむものとそれぞれ  
固く心を定め相誓える態を御心持美わしく受け給  
い　残れる兄弟親族たちの行末を見守りつゝ、汝  
大人はまた新しき衣を召され　いち早くこれの世  
に出直され次の世こそ一層の長き命を賞でつゝ、人  
救いの道　生業の道も更に勢いもて押し進められ  
ると共に　汝大人自信が思し召しされる陽氣ぐら  
しの実を家族親族また世の諸人たちと共により永  
くより深く楽しまれ給えと恐み恐みも曰す